

|                           |   |                   |       |      |     |  |     |
|---------------------------|---|-------------------|-------|------|-----|--|-----|
| 科目コード                     | N22210  | 科目名               | 臨床病態学 |      |     |  |     |
| 履修区分                      | 必修  | 開講期               | 2年後期  | 授業回数 | 15回 | 単位数  | 1単位 |
| 担当者                       | 木下恵美子/藤井隆行/宋芳   |                   |       |      |     |  |     |
| 授業の概要                     | 病気によって患者に何が起きているかを理解するために、主な疾患の病態、原因、症状、診断、検査、治療について学んでいく |                   |       |      |     |  |     |
| DPとの関連                    | 平和を希求する姿勢を身につける   |                   |       |      |     |  |     |
|                           | 豊かな教養を身につける   |                   |       |      |     |  |     |
|                           | 高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける                        |                   |       |      |     |  |     |
|                           | 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける                 |                   |       |      |     |  |     |
|                           | 地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける                          |                   |       |      |     |  |     |
|                           | 自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける                  |                   |       |      |     |  |     |
|                           | 多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける             |                   |       |      |     |  |     |
|                           | 社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける               |                   |       |      |     |  |     |
| 到達目標                      | 異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける                 |                   |       |      |     |  |     |
|                           | DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）=卒業までに身に付けるべき資質・能力             |                   |       |      |     |  |     |
| 履修上の注意事項                  | 1.主要な疾患について、どのような変化を生じ、その結果、どのような病態と症状が出現するのかを理解する        |                   |       |      |     |  |     |
|                           | 2.疾患について理解し、看護に繋がることが出来る                                  |                   |       |      |     |  |     |
| 授業計画                      | 回数  | 講義内容【担当教員】        |       |      |     | 事前・事後学修  |     |
|                           | 1   | 感覚器疾患 【木下恵美子】     |       |      |     | 事前：感覚器の構造と機能について確認しておく 事後：講義で取り上げた疾患については、講義資料、医学書院系統看護学講座を読むなどして復習する      |     |
|                           | 2   | 感覚器疾患 【木下恵美子】     |       |      |     | 事前：感覚器の構造と機能について確認しておく 事後：講義で取り上げた疾患については、講義資料、医学書院系統看護学講座を読むなどして復習する      |     |
|                           | 3   | 女性のライフサイクル【木下恵美子】 |       |      |     | 事前：女性のライフサイクルについて確認しておく 事後：講義で取り上げた内容については、講義資料、医学書院系統看護学講座を読むなどして復習する     |     |
|                           | 4   | 周産期 【木下恵美子】       |       |      |     | 事前：周産期について確認しておく 事後：講義で取り上げた内容については、講義資料、医学書院系統看護学講座を読むなどして復習する            |     |
|                           | 5   | 周産期 【木下恵美子】       |       |      |     | 事前：周産期について復習しておく 事後：講義で取り上げた内容については、講義資料、医学書院系統看護学講座を読むなどして復習する            |     |
|                           | 6   | 精神疾患の実際【藤井隆行】     |       |      |     | 事前：精神疾患について確認しておく 事後：講義で取り上げた内容については、講義資料、医学書院系統看護学講座を読むなどして復習する           |     |
|                           | 7   | 国際臨床看護【宋芳】        |       |      |     | 事前：他国の看護について調べてみる 事後：講義で取り上げた内容については、講義資料で復習する。                            |     |
|                           | 8   | 婦人科疾患【木下恵美子】      |       |      |     | 事前：婦人科疾患について確認しておく 事後：講義で取り上げた疾患については、講義資料、医学書院系統看護学講座を読むなどして復習する          |     |
|                           | 9   | 老年期 老年期の基礎【木下恵美子】 |       |      |     | 事前：老年期とその特徴について復習しておく 事後：講義で取り上げた内容については、講義資料、医学書院系統看護学講座を読むなどして復習する       |     |
|                           | 10  | 老年期 疾患1【木下恵美子】    |       |      |     | 事前：老年期とその特徴について復習しておく 事後：講義で取り上げた内容については、講義資料、医学書院系統看護学講座を読むなどして復習する       |     |
|                           | 11  | 老年期 疾患2【木下恵美子】    |       |      |     | 事前：老年期とその特徴について復習しておく 事後：講義で取り上げた内容については、講義資料、医学書院系統看護学講座を読むなどして復習する       |     |
|                           | 12  | 老年期 疾患3【木下恵美子】    |       |      |     | 事前：老年期とその特徴について復習しておく 事後：講義で取り上げた内容については、講義資料、医学書院系統看護学講座を読むなどして復習する       |     |
|                           | 13  | 放射線診断・治療【木下恵美子】   |       |      |     | 事前：放射線診断・治療について確認しておく 事後：講義で取り上げた内容については、講義資料、医学書院系統看護学講座を読むなどして復習する       |     |
|                           | 14  | 抗がん剤治療【木下恵美子】     |       |      |     | 事前：抗がん剤治療について確認しておく 事後：講義で取り上げた内容については、講義資料、医学書院系統看護学講座を読むなどして復習する         |     |
|                           | 15  | 臨床病態学 まとめ【木下恵美子】  |       |      |     | 事前：これまでの講義資料、医学書院系統看護学講座の該当ページを読んでおく 事後：これまでの講義資料、医学書院系統看護学講座の該当ページを読み復習する |     |
| 成績評価方法                    | 定期試験<br>中間テスト・小テストを実施することがある                              |                   |       |      |     |  |     |
| 教科書                       | 書名・著者（出版社）  |                   |       |      |     | ISBNコード  |     |
|                           | 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論（医学書院）                                 |                   |       |      |     |  |     |
| 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論（医学書院） |   |                   |       |      |     |  |     |
| 参考書                       |   |                   |       |      |     |  |     |
|                           |   |                   |       |      |     |  |     |
| 教員からのメッセージ                | 臨床医学 で行われる講義を十分に修学する事が3年生の実習の基礎になる！！                      |                   |       |      |     |  |     |
| 教員との連絡方法                  |   |                   |       |      |     |  |     |
| 実務経験のある教員                 |   |                   |       |      |     |  |     |